

社会と個人の狭間にあるジレンマ

無形資産時代の 欲望のパラドックスを考える

NHKエンタープライズ エグゼクティブ・プロデューサー
東京藝術大学客員教授 / 早稲田大学非常勤講師
丸山俊一

丸山俊一

NHKエンタープライズ コンテンツ開発部エグゼクティブ・プロデューサー

東京藝術大学 客員教授／早稲田大学 非常勤講師

87年慶大経済卒後NHK入局 教養番組部ディレクター、チーフ・プロデューサーなど…

(主な担当番組／教養コンテンツ開発事業)

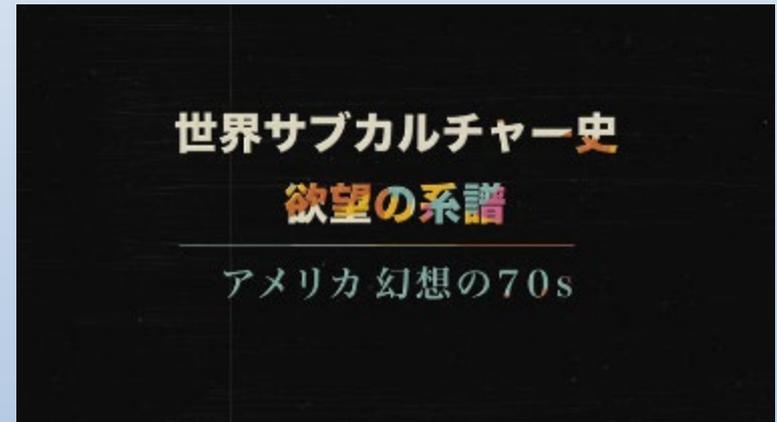
- シリーズ「欲望の資本主義／民主主義／経済史／時代の哲学／哲学史」
- 「世界サブカルチャー史～欲望の系譜～」
- 「ネコメンタリー 猫も、杓子も。 ● 「魂のタキ火」
- 教養系WEBコンテンツなど 制作／プロデュース

(過去に…)

- 「英語でしゃべらナイト」 ● 「爆笑問題のニッポンの教養」
- 「ソクラテスの人事」 ● 「仕事ハッケン伝」 ● 「奇跡のレッスン」 ● 「地球タクシー」
- 「ニッポン戦後サブカルチャー史」 ● 「ニッポンのジレンマ」 他

(著書／共著)

- ☆ 「14歳からの資本主義」 (大和書房)
- ☆ 「14歳からの個人主義」 (〃)
- ☆ 「結論は出さなくていい」 (光文社新書)
- ☆ 「すべての仕事は『肯定』から始まる」 (大和書房)
- ☆ 「欲望の資本主義 1～5」 (東洋経済新報社 制作班共著)
- ☆ 「欲望の民主主義～分断を越える哲学～」 (幻冬舎新書 同)
- ☆ 「マルクス・ガブリエル 欲望の時代を哲学する」 (NHK出版新書)
- ☆ 「AI以後～変貌するテクノロジーの危機と希望～」 (〃) 他



欲望の資本主義
ルールが変わる時

この星は
欲望で
つながっている

書籍化

欲望の資本主義 2
開の力が目覚める時

作っては、
壊して。

私たちが
何を求めて
働いているのか?

書籍化

欲望の資本主義 3
偽りの個人主義を越えて

最高の
知性が
問う
未来

書籍化

欲望の資本主義 4
スティーヴン・フーコーン
不確実性への挑戦

理論と歴史、
二つの視点から
知の巨人
語り尽くす

書籍化

欲望の資本主義 5
格差拡大 社会の深淵に陥れる時

夢か?
悪夢か?

書籍化

岩井克人
「欲望の貨幣論」
を語る

その本質に
日本の
知性が迫る

書籍化

NHK ニッポン戦後
サブカルチャー史

宮沢章夫

NHK ニッポン戦後
サブカルチャー史
深掘り進化論

耽溺は
力だ。

個人主義

自分を失わずに
生きるための
思想と哲学

同調圧力から
自由になりたい人へ

14歳からの
資本主義

現代社会を
理解する1冊!

丸山俊一

結論は出さなくていい

「ニッポンのジレンマ」
「欲望の資本主義/経済史」
「人間ってなんだ? 超AI入門」
「英語でしゃべらナイト」
「爆笑問題のニッポンの教養」...etc.

「肯定」
から
始まる

丸山俊一
古市憲寿氏
推薦!!!

GS

欲望の民主主義

丸山俊一

マルクス・ガブリエル
欲望の時代を
哲学する

丸山俊一

話題沸騰。

マルクス・ガブリエル
欲望の時代を哲学する II

丸山俊一

ニューヨークで
語り尽くす!

マルクス・ガブリエル
危機の時代を語る

丸山俊一

コロナ後の
緊急インタビューも収録

大反響!

マルクス・ガブリエル
新時代に生きる
「道徳哲学」

丸山俊一

自分の自由を
手放さない
ために

丸山俊一
AI
以後

AIが進行中の
未来の姿だ。



- 1章 この社会の中で「自分」を失わずに生きるための「個人主義」とは
- 2章 「みんなと同じ」から離れる勇気——ひとり歩きする自分を見すえて
- 3章 自分の中にある2つの自分との向き合い方——ラカンとフロムに学ぶ
- 4章 「自分」の基準をはずすということ——老子と荘子に学ぶ
- 5章 あるがままの「自分」に向き合う——モンテーニュとパスカルに学ぶ
- 6章 おのずから「自分」は生まれる——鈴木大拙と西田幾多郎に学ぶ
- 最終章「自分」を解き放つということ——ふたたび漱石へ

今日は死ぬか生きるかの問題は、大分超越している。それが変化してむしろ生きるか生きるかという競争になってしまったのであります。(中略)現代日本の開化は皮相上滑りの開化であるという事に帰着するのである。
(「現代日本の開化」夏目漱石)

※コロナ時代の「生命か経済か」は、現代の「生きるか生きるか」?

この時私は始めて文学とはどんなものであるか、その概念を根本的に自力で作り上げるよりほかに、私を救う途はないのだと悟ったのです。今までは全く他人本位で、根のない萍のように、其所いらをでたらめに漂っていたから、駄目であったという事に漸く気が付いたのです。私のここに他人本位というのは、自分の酒を人に飲んでもらって、後からその品評を聴いて、それを理が非でもそうだとしてしまういわゆる人真似を指すのです。

(「私の個人主義」夏目漱石)

※AI／デジタルテクノロジー／データ資本主義時代の 個の力とは?





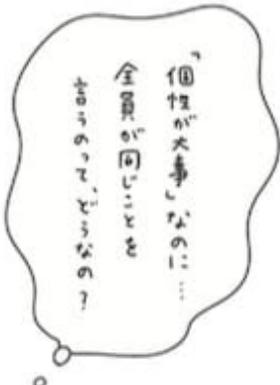
個性が大事!!

多様性

自分の強み

広い視野

AIにない感性



「個性が大事」なのに...
全員が同じことを
やっているのでは...ないか?

「個性」の押しつけから、
自由になるための考え方です。



「多様性」が叫ばれる時代のアイロニーを越えて...



現代の社会の「アイロニー」

- 第1章 K字の果ての歪な市場
- 第2章 コロナが生んだZ世代投資家
- 第3章 「最後のディーラー」の賭け
- 第4章 反復する半世紀前の夢
- 第5章 気候危機は資本主義のしわざ？

- 第6章 公共善のパラドックス
- 第7章 競争×福祉＝生産性？
- 第8章 コモンズの復活か？悲劇か？
- 第9章 市場と民主主義の再生
- 最終章 成長と分配の狭間で





「欲望の資本主義～ルールが変わるとき～」 2016年5月28日
NHK総合



私たちはいつから、こんな
世界を生きているんだろう。

より速く、より高く、より遠くへ。

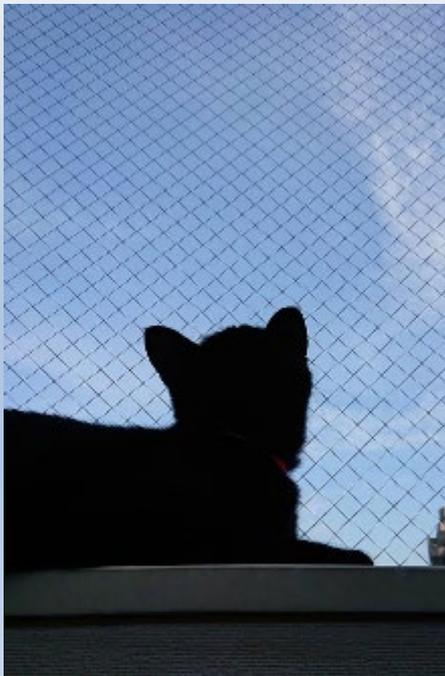
やめられない、止まらない。

欲望が欲望を生む、欲望の資本主義。

資本主義とは？

“際限なき**欲望**” を
喚起するシステム？

「欲望」の変化から起きる社会の変化
富を生むルール変更とは？



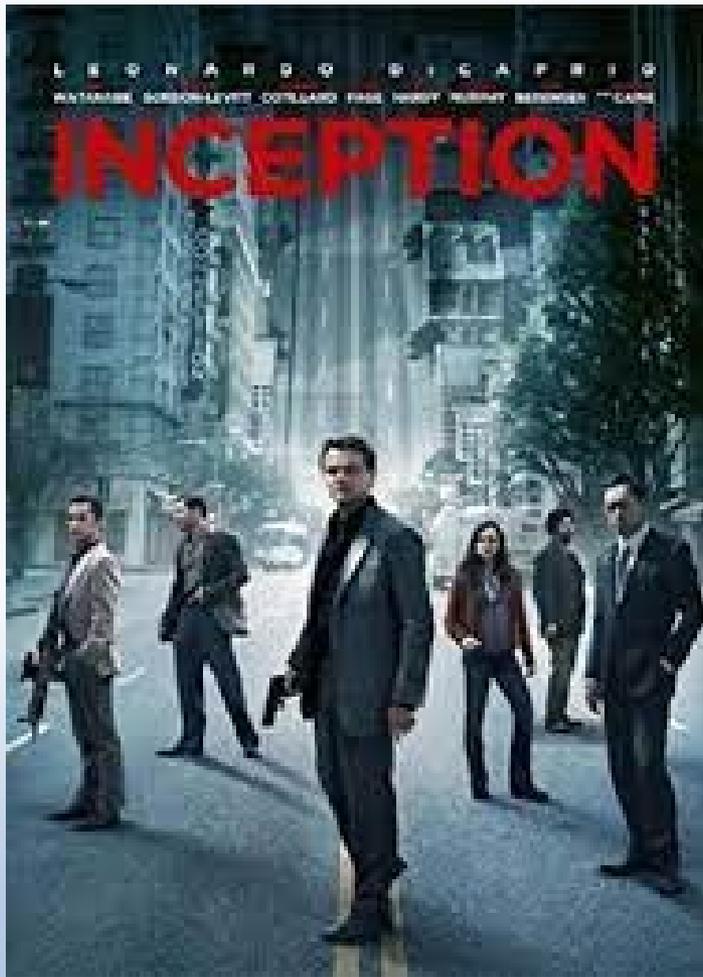
今どんな**時代**に
どんな**世界**に
生きている？





「欲望」は時代が作る？ とすれば・・・

今見えている世界とは異なる欲望の形もあるはず



inception : 「始まり」 「開始」 「発端」

相手の潜在意識にアイデアを夢として植え付けようとする主人公

今見えている世界は、夢？

時代が見せる夢が「欲望」の形を決めるとしたら…

富を生むルールの変遷 欲望の経済史

利子⇒ 重商主義⇒

時

空間

14Cイタリア

16~18Cイギリス他

⇒産業革命⇒株式市場⇒金融資本主義

蒸気機関

大衆

デジタル技術

18Cイギリス

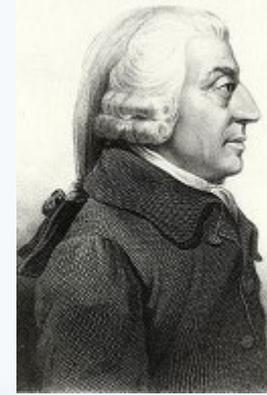
20Cアメリカ

富を生むルールの変遷 欲望の経済史

利子⇒ 重商主義⇒
時 空間

14Cイタリア

16~18Cイギリス他



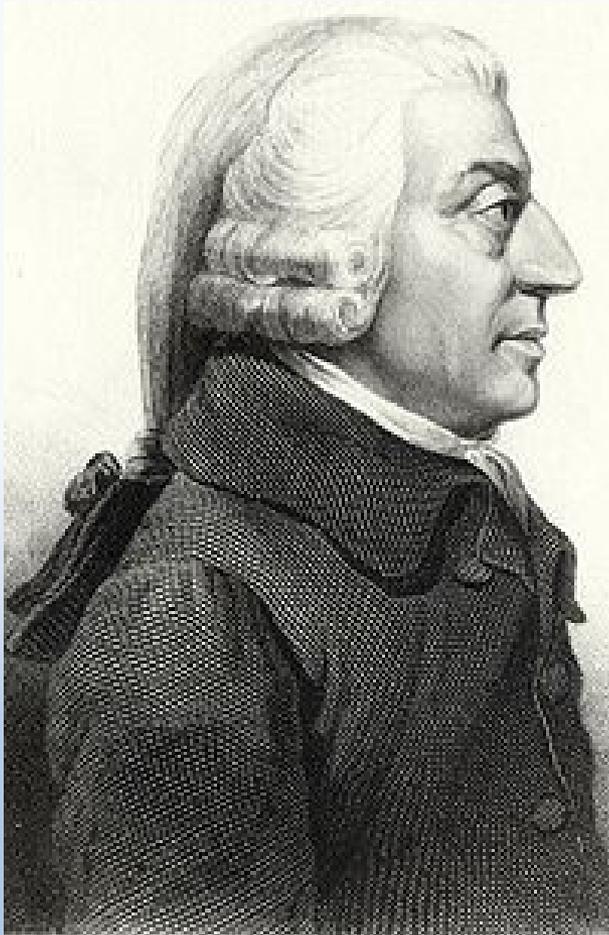
⇒産業革命⇒株式市場⇒金融資本主義
蒸気機関 大衆 デジタル技術
18Cイギリス 20Cアメリカ グローバル化

デジタルテクノロジーによる
「無形資産」の時代へ？

★アダム・スミス

(1723 - 1790)

「経済学の父」



● *division of labour*

分業 ↓

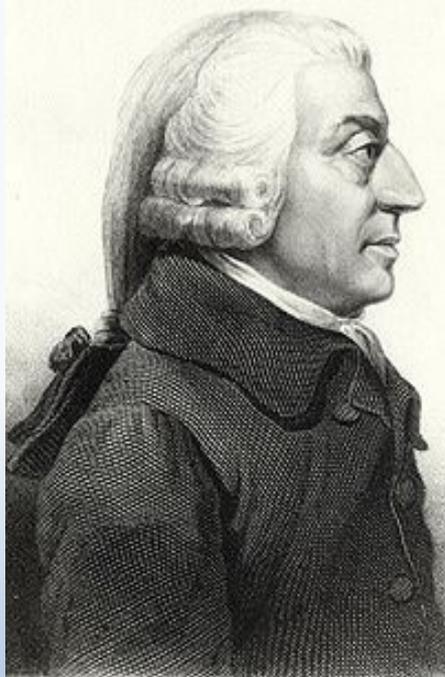
● *invisible hand*

見えざる手

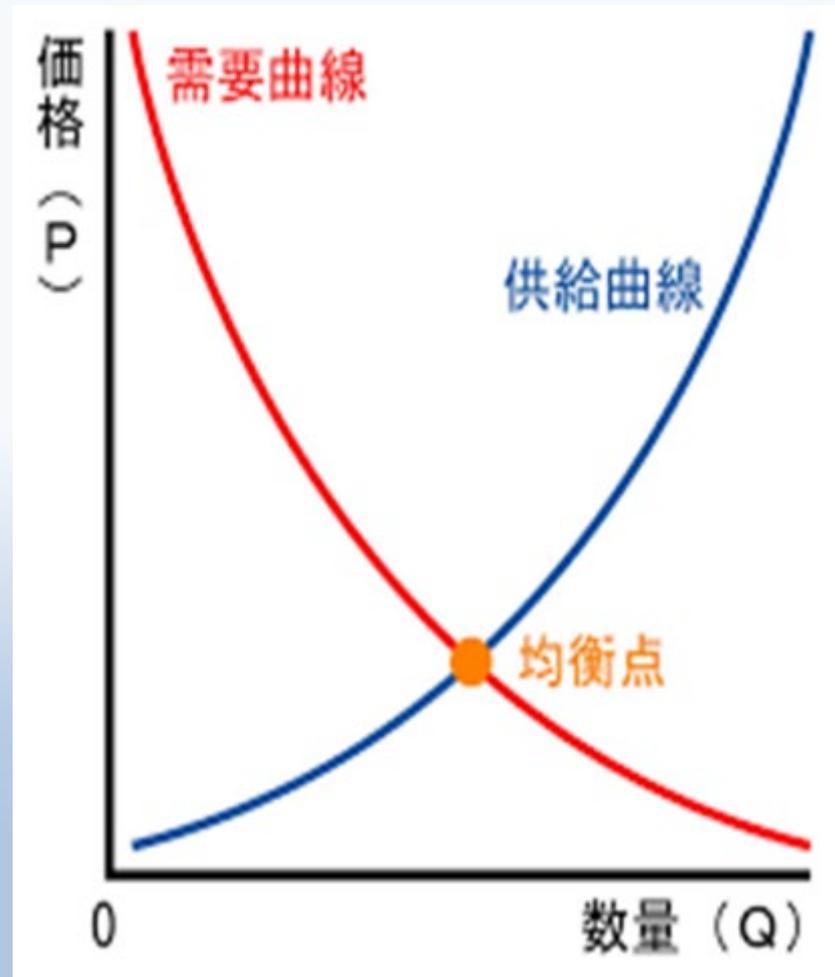


1776年 国富論(諸国民の富)

スミスの思想は・・・？



||
:?
:

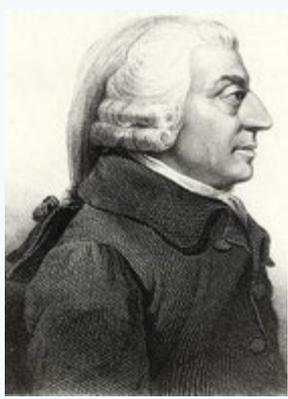


資本主義を駆動するのは？

⇒売り手／買い手双方が目指す「利潤最大化」？

「合理的経済人」という前提

アダム・スミスは間違っていた？



「見えざる手」

産業革命 以前...

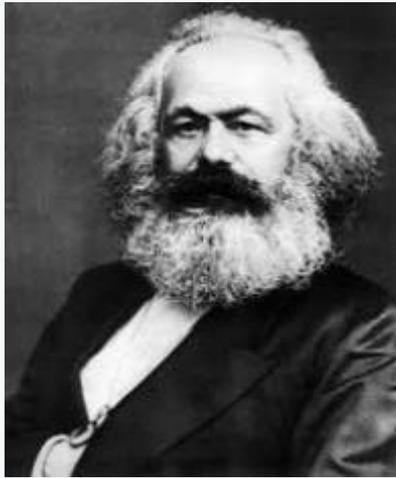
デジタルテクノロジー 以前

本格的なグローバル化 以前

⇒工業化社会までのレトリック
脱工業化社会には...？

ジョセフ・スティグリッツ
2001年にノーベル経済学賞を受賞





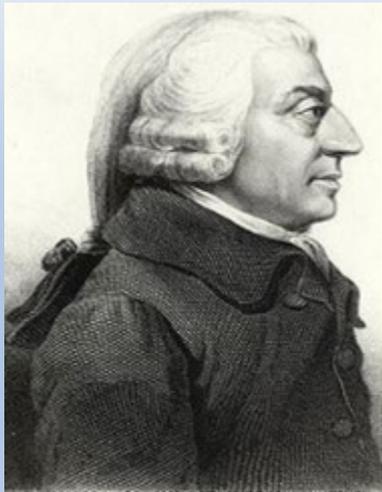
マルクス(1818-1883)
「階級闘争」の主導者？



ケインズ(1883-1946)
「有効需要」の生みの親？



ハイエク(1899-1992)
「新自由主義」の教祖？



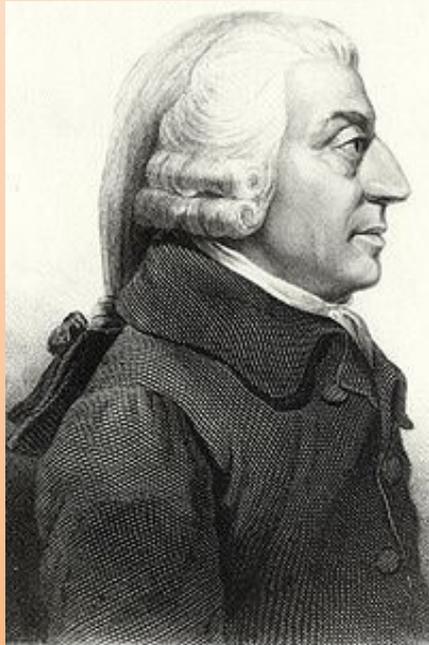
アダム・スミス(1723-1790)
「経済学の父」



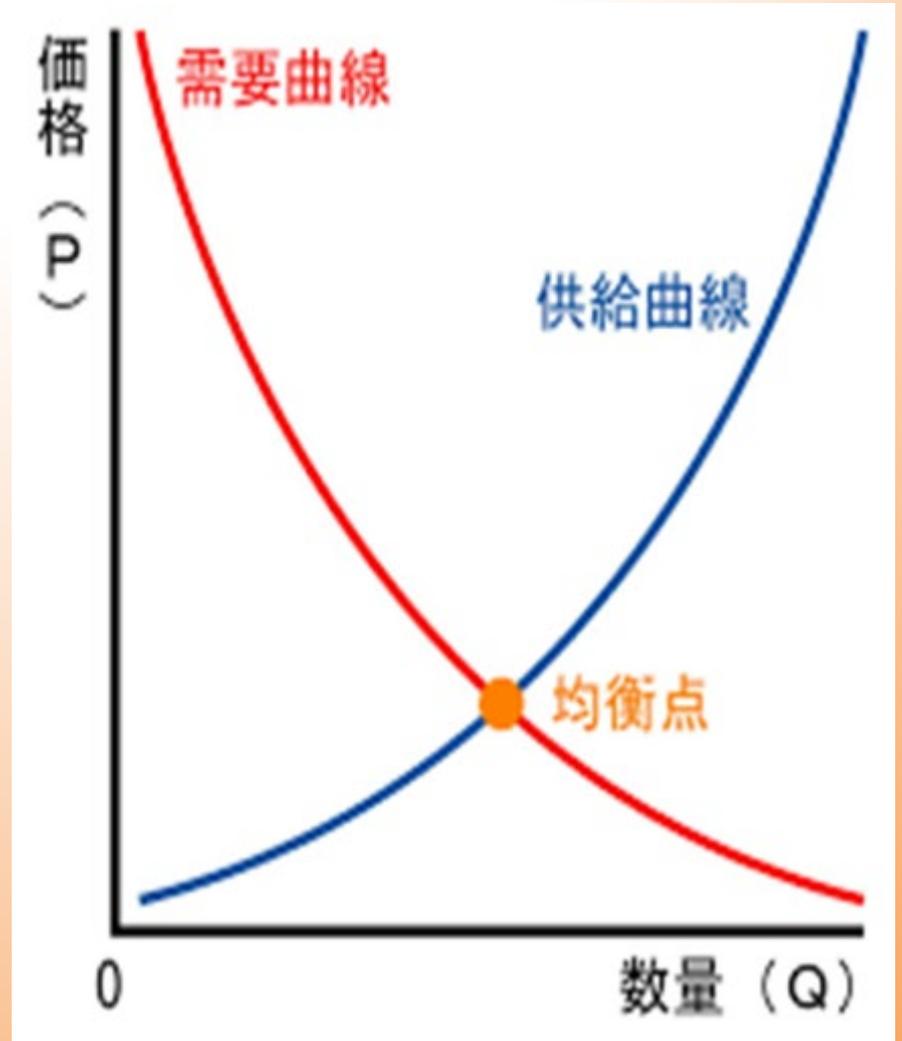
シュンペーター(1883-1950)
「イノベーション」の生みの親？

「経済学」の
巨人たちの
可能性は？

250年の時の流れの「ねじれ」？



≠



現代の資本主義を特徴づける変化

(Changes that characterize modern capitalism)

1 グローバル化 *(Globalization)*

2 デジタルテクノロジー化

(Implementation of the IT)

3 ソフト化／サービス化

(Introduction of service / Software adoption)

⇒ 感情／精神／欲望の商品化？

(Commercialization of emotion / spirit / desire?)

「無形資産」の時代

そもそも有形資産, 無形資産とはなにか？

有形資産の例



現金



有価証券



工場



機械



商品



車両

無形資産の例



ノウハウ



人材



データ



ネット
ワーク

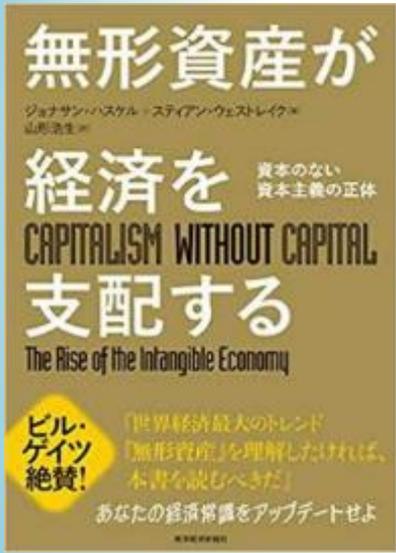


研究開発



ブランド

無形資産が時価総額の8割を占める時代HPより



ジョナサン・ハスケル
インペリアル・カレッジ・ロンドン教授

「資本主義は無形資産に富んだ経済に対応するための新たな形を探ることになる」

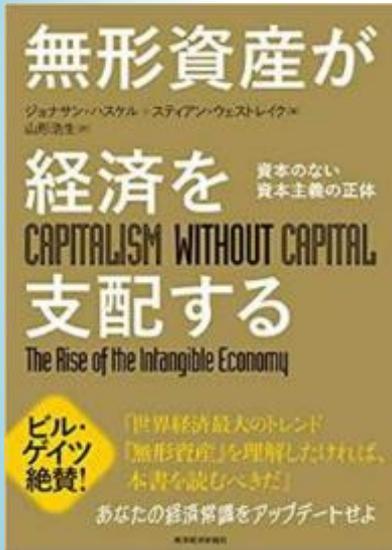
「そして...
格差を拡大させる面もあることも否定できない」



G A F A M



- ⇒ 巨大プラットフォーマーの主導の経済形、モノとして捉えがたい資産... それをどう位置付ける？
- ⇒ アイデア、発想が無限の活力に？
- ⇒ 感情、共感、精神の「商品」化



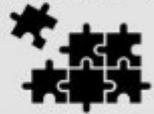
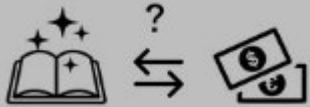
ジョナサン・ハスケル
インペリアル・カレッジ・ロンドン教授



EX) スターバックスの店舗マニュアル
アップルのデザインとソフトウェア
コカ・コーラ の製法とブランド
マイクロソフトの研究開発と研修
グーグルのアルゴリズム
ウーバーの運転手ネットワーク...

「暗黙知」含む 未知／未来／発想 への期待...夢が資本？
...ポスト産業資本主義の駆動力

無形資産の4つの特徴（4S）

		ポジティブ		ネガティブ	
無形資産	4S	① スケーラブル	② シナジー	③ スピルオーバー	④ サンクコスト
	特徴	拡張しやすい 	組み合わせやすい 	コピーされやすい 	転売しにくい 
	例	 シロップのレシピを活用して 全世界の製造・販売業者と提携 	 ミニハードディスクと デザイン能力でiPodを開発 	 ミッキーの著作権は法改正により 著作権失効期限を2回延長 	 運営／顧客対応マニュアルは 評価が難しく転売が困難 
	有形資産	量に限界があるため 拡張が限定される 	物理的距離を超えられないため 組み合わせが限定される 	物理的に隔離できるため コピー対策が容易 	転用しやすく市場もあるため 転売が容易 

池田寛人 | ファンベース × 金融HPより

スケーラブル = 拡張性 と スピルオーバー...裏腹の関係

70



金ドル交換停止

変動相場制

80



レーガノミクス

小さな政府

90



ICT=情報通信技術革命

軍事費の削減

★工業化時代の終焉

モノで「豊かな社会」を実現後 資本主義の推進力を想像力の欲望
に求めた歴史

オイルショック

新自由主義

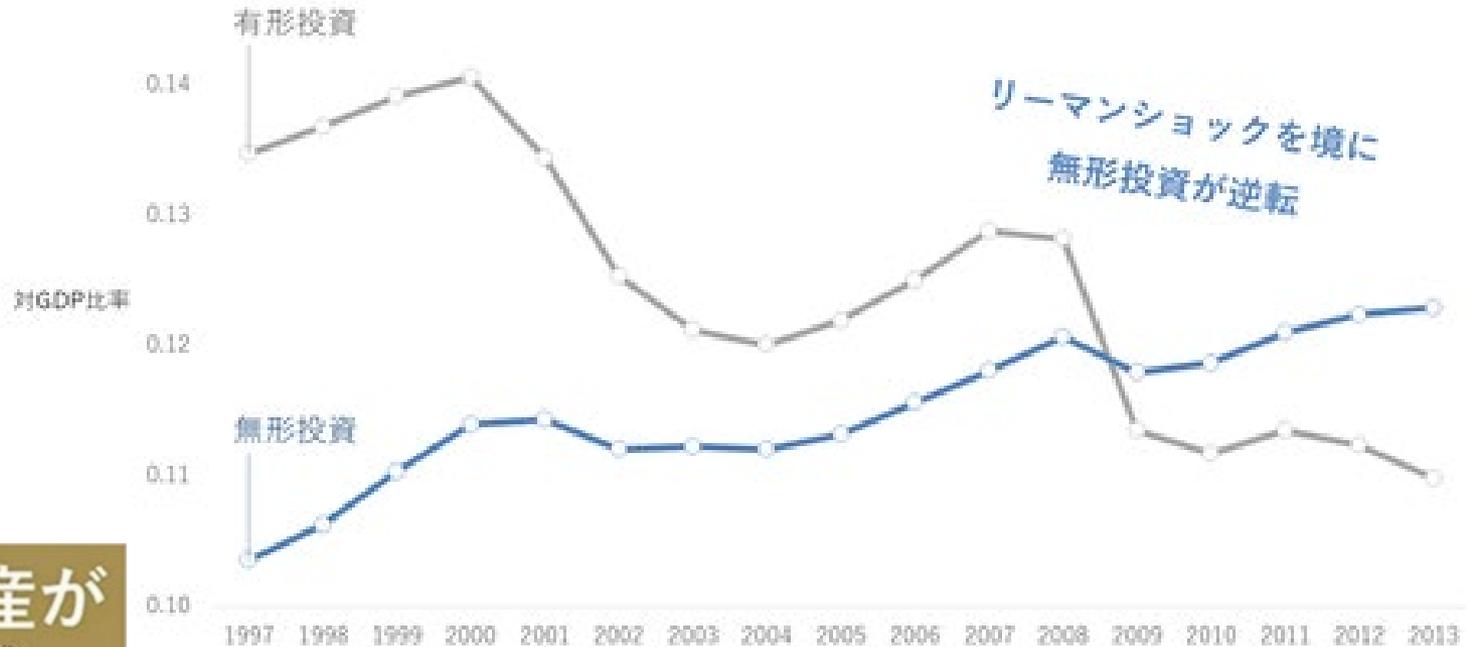
冷戦構造解体

産業構造転換への契機 ⇒ 金融グローバル化 ⇒ ニューエコノミーへの投資

・・・「無形資産」=「形無き資本主義」への疾走の歴史？ 90年代テイクオフ

無形資産への投資が有形資産への投資を逆転

ヨーロッパとアメリカの有形投資と無形投資



出典：ジョナサン・ハスケル、ステイアン・ウェストレイク「無形資産が経済を支配する」

無形資産が

ジョナサン・ハスケル・ステイアン・ウェストレイク
山形浩生

経済を 資本のない
資本主義の正体

CAPITALISM WITHOUT CAPITAL

支配する

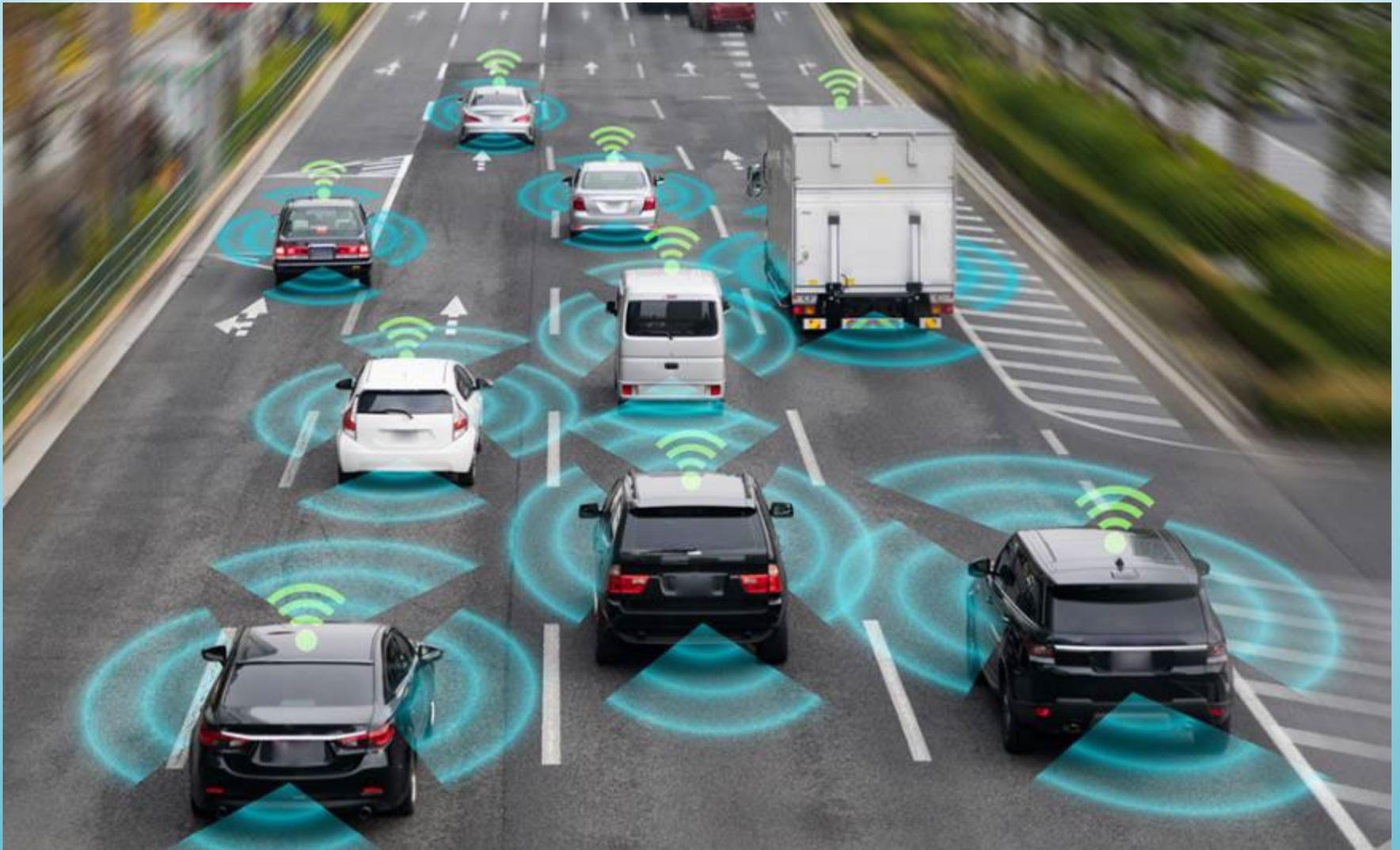
The Rise of the Intangible Economy

ビル・ゲイツ
絶賛!

「世界経済最大のトレンド
「無形資産」を理解したければ、
本書を読むべきだ」

あなたの経済常識をアップデートせよ

東洋館出版



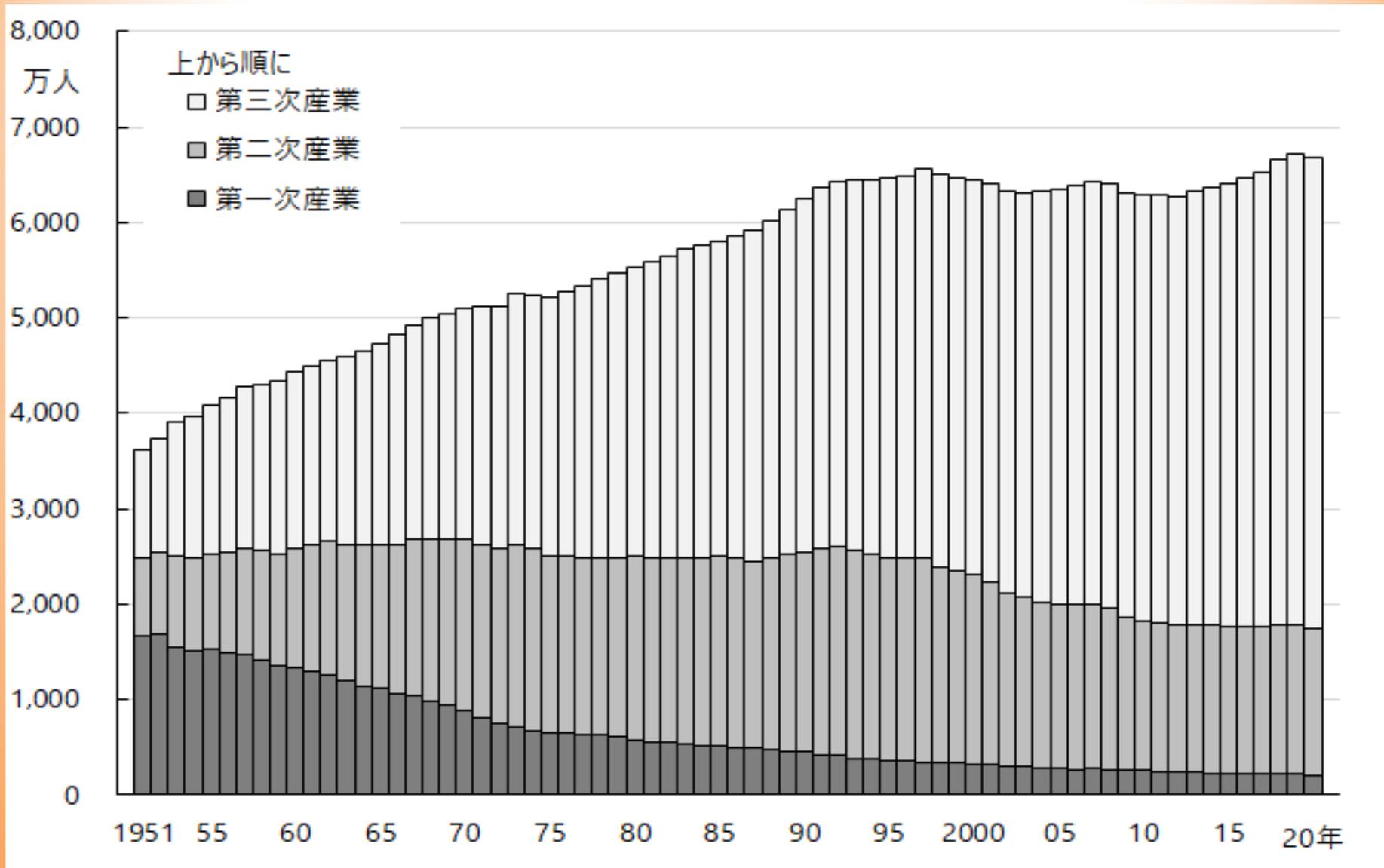
MEIJO UNIVERSITY HPより

「破壊的」イノベーション: 自動運転技術の実現↔ドライバーの雇用
ソフト開発の利益の独占／寡占の強度は 経済の枠を越え 社会問題に

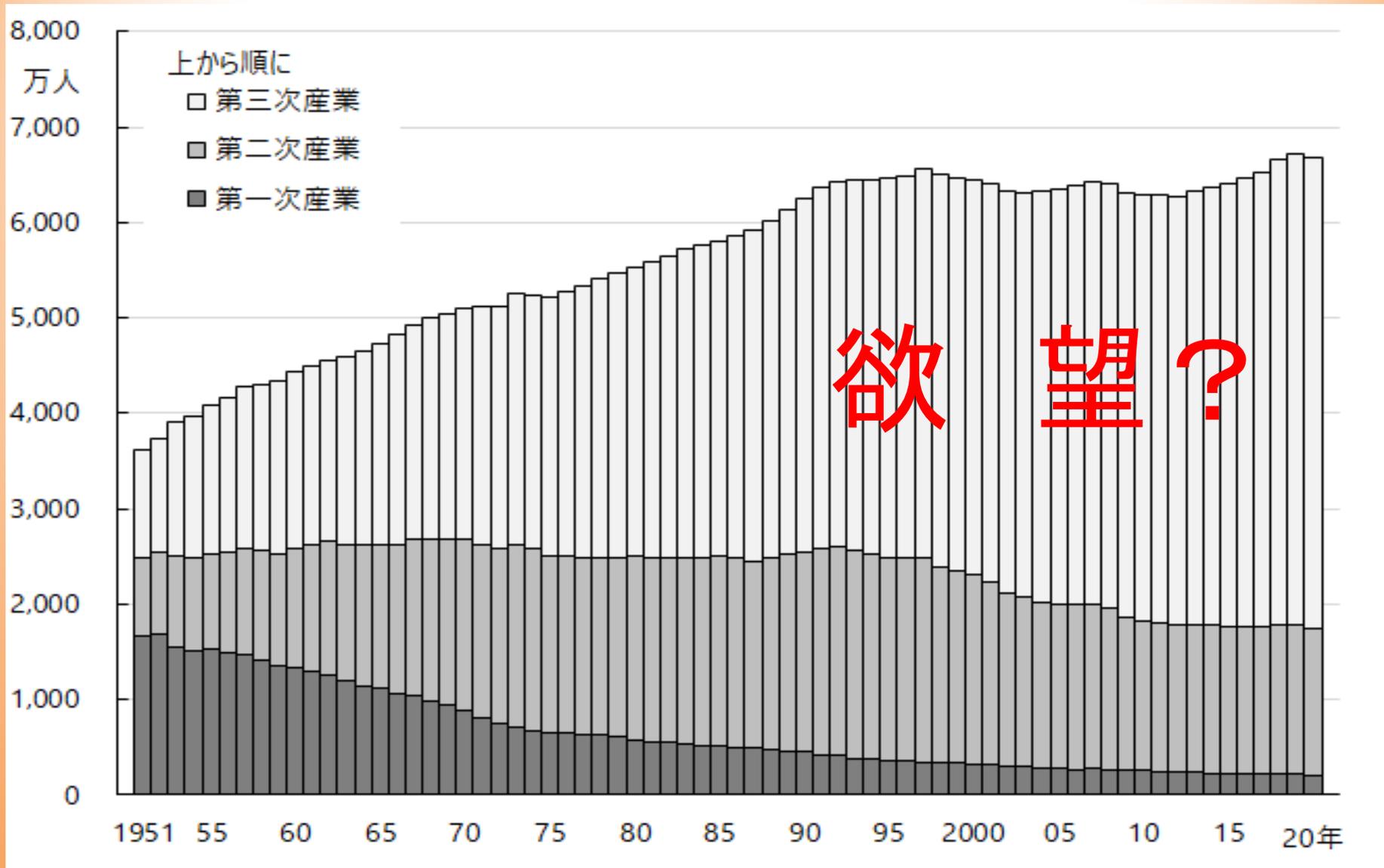


Career Growth HPより

生産ラインでの工程(工業化社会) VS アルゴリズム開発(脱工業化社会)
経済的な「分配」プロセスの違いの大きさ・・・社会の構造の不安定性に波及？



産業別就業者数の推移(第一次～第三次産業) 1951年～2020年年平均 総務省調べ



産業別就業者数の推移(第一次～第三次産業) 1951年～2020年年平均 総務省調べ

欲 望

想像力の領域

文化 制度 社会に根差す

desire

人間特有⇒ 理性 文化

..... 葛藤

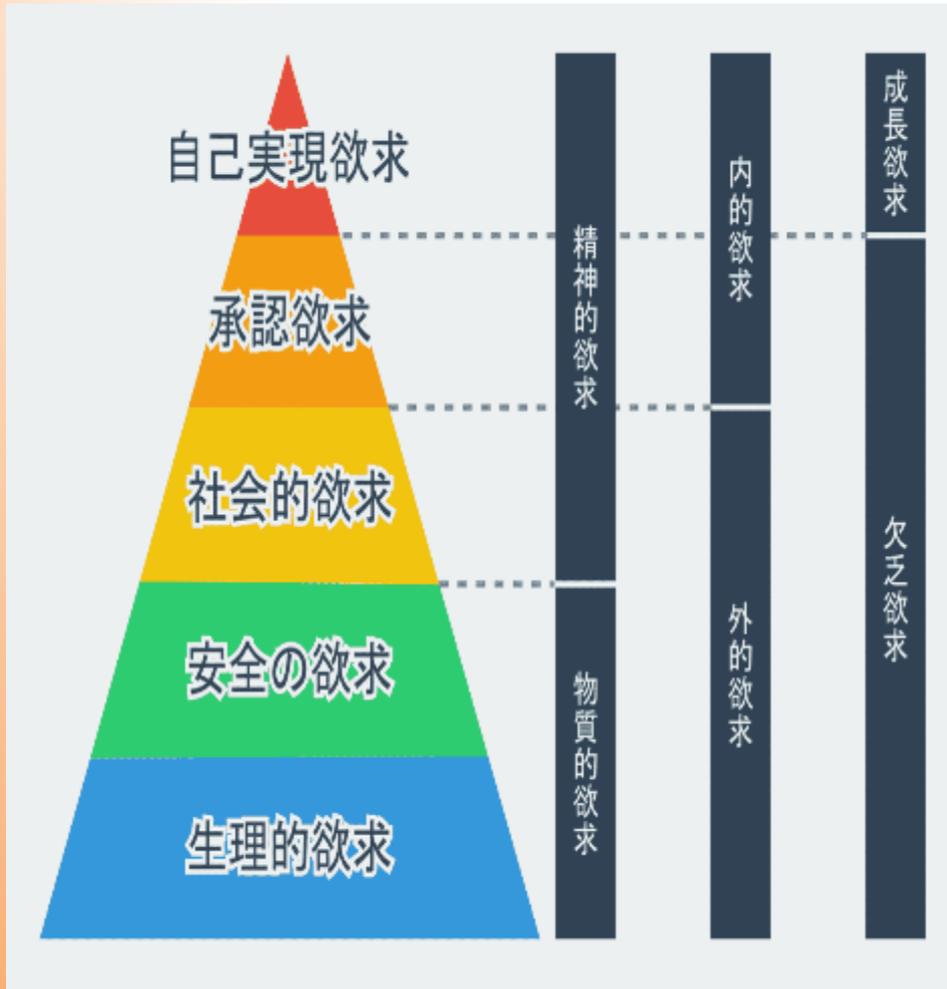
欲 求

生存に必要

あらゆる動物にある⇒本能

want





Study Hacker HPより

無形資産

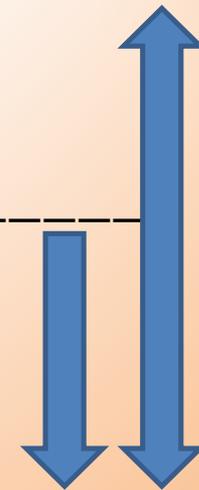
感情の商品化

欲望

有形資産

工業化

欲求



本能？
 深層心理？
 生命力の基層？

リンゴを高く売ることに 夢中になっているうちに…
(交換価値)

リンゴの味を忘れてしまったのか？
(使用価値)



交換価値 > 使用価値

イメージ 体験 の「商品化」 感情で動く市場



⇒「目的」 と 「手段」の逆転

=「交換価値」 > 「使用価値」？

=「相対的価値」 > 「絶対的価値」？

・・・高いから価値があるという倒錯の中で...



様々なメディア、文化財にも押し寄せる課題
「データ」に翻弄される社会・・・

一億「総クリエイター」ならぬ「総マーケター」の時代に...？

「他人指向型」(D.リースマン)人間／社会の加速化

「高く売れる」ということ…

人の「創造力」に値段がつくということの持つ逆説

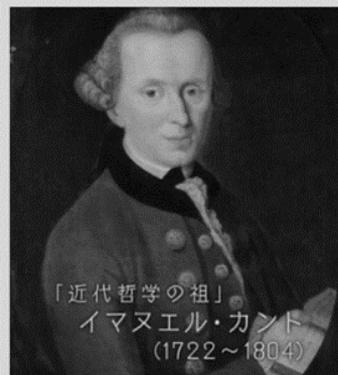
- ★ 国内で 200万で取り引きされていた伝統工芸品に
海外で 2000万の値がついた
=生産性が10倍？
「素晴らしい成果」？それとも…？

.....

創造性という「無形資産」につきまとう両義性

創造力の商品化＝可能性の解放 言い値で決まる価値

…自らの「尊厳」を守る自覚は？



すべての人間は心の迷いと欲望を抱えているものであり、これに関わるものはすべて市場価格をもっている。それに対してある者がある目的をかなえようとする時、相対的な価値である価格ではなく、内的な価値である"尊厳"をもつ。

"尊厳" にすべての価格を超越した高い地位を認める。

"尊厳" は価格と比べ見積もることなど絶対にできない。

カント「道徳形而上学原論」



どうやって人間の尊厳を守るか
欲望の資本主義の時代
における最大の問題

尊厳は他のものに交換できない何か。

物は価格を持っている。それは交換できるから。

人間だけは他と交換できない。

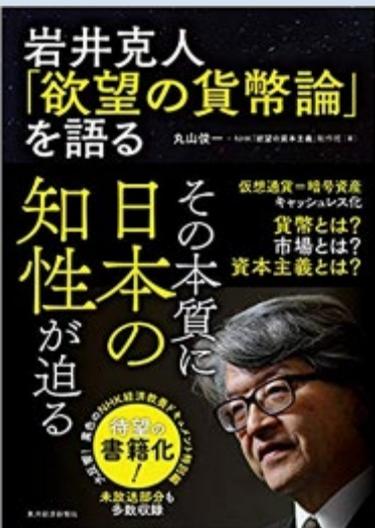
貨幣は人間を匿名にする。これが貨幣のもっとも重要なところ。

匿名ということは人間が他の人に評価されない領域を自分でちゃんと持っている。これは重要。それが人間の自由。

自分自身の領域を持っていることが人間の自由。

自分で自分の目的を決定できる存在はその中に他の人が入り込めない余地がある。

そこは人間の尊厳の根源になる。

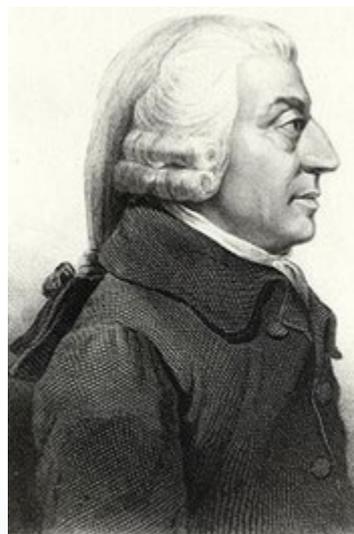


デジタル経済がもたらす 「尊厳」の毀損

ポスト・ヒューマンか？

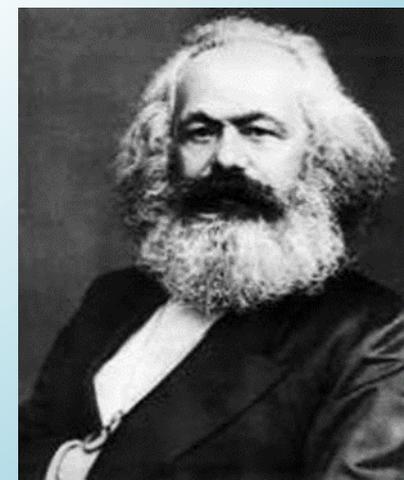
デジタル「奴隷」か？

アダム・スミス(英)
「国富論」(1776)
⇒「労働の分割」



経済の論理が
社会と人間を引き離すことへの
抵抗の思想の系譜

カール・マルクス(独)
「経済学・哲学草稿」(1844年)
⇒「社会的存在としての人間」



エミール・デュルケーム
「社会分業論」(1890)
⇒「有機的連帯」

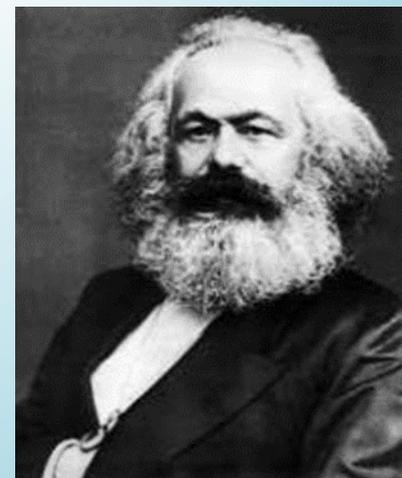


マルクスが読む 無形資産の時代 デジタル／バーチャル経済の光と影



「生産手段」の解放

⇒ デバイスを手に入れた労働者が
資本家に？



.....

「類的存在」人間の「疎外」

⇒ 「デジタル疎外」／人間性の「搾取」？



データ／デジタル／情報／知財／アイデア／ポスト産業／無形資産
...「欲望」の資本主義の光と影



「幻冬舎ゴールドオンライン」より

創造力が資本になる フェアな夢の競争？

イノベーションが
人々を苦しめる？
パラドックス
⇒欲望のジレンマ

デジタル時代の
「ミラーイメージ」
= 錯覚への警鐘



ダニエル・コーエン(仏 経済学／社会哲学)
「創造的であれ！さもなくば死だ」
デジタルテクノロジー は成長をもたらさず
格差をもたらす？

<近代という時代>・・・「合理性」が生んだ皮肉
誰でも代わりはいる世の中？

数量化 代替可能性 ⇒ リニアな 世界観
＝無限の欲望を解き放つ不幸？

無限の時間 にある 社会 普遍性への希求

有限の時間を生きる 個人 個別性への希求

⇒ デジタル時代の社会 と 個人 の葛藤

ex) ポリティカルコレクトネス“疲れ”
が招く反動
「AI奴隷」の無力感・・・など





無形資産時代の
社会と心のバランスは？

欲望のゆくえは…？



ご清聴ありがとうございました ご感想、ご意見、ご質問など こちらへ！

marushun@jf7.so-net.ne.jp

@shunzzzz1